

☆ Can you believe 2018 is over and 2019 has already officially started? Happy New Year! How did you spend your winter holidays? Did you watch any sports or special TV shows? What made you excited most? One of them might be...

“Tokai University wins Tokyo-Hakone ekiden ”

Tokai university, starting 1 minute, 14 seconds behind Wednesday's first-day leader

Toyo University, clocked a total time of 10 hours, 52 minutes, 9 seconds for the two-day,

10-segment round trip from Tokyo to Hakone, Kanagawa Prefecture. —The Japan Times



東海大学は、初日1位の東洋大学に1分1秒差で遅れをとったが、2日間の東京箱根間往復10区間を10時間52分9秒の記録を出して優勝した。

☆ Now let's look back on some events and activities of LAC in the 2nd term. 2学期のLAC行事・活動を振り返ります。

The 2nd LAC Lecture 第二回 LAC 特別講座

12月17日、関西学院大学の国際教育・国際協力センターの中村明教授に「持続可能な開発目標（SDGs）とは（その2）」と題して、第一回（7月）に継続した内容で講義をしていただきました。最初に、2年7組のSさん、Tさん、Oさんの3名がロジカルスキルアップの授業で取り組んだSDGsについての課題研究『飢餓をゼロに』についての発表を立派に行いました。講評の後、英語で発表するための助言を頂きました。世界の現状について知識を増やし、今後の探究学習につなげるためのヒントを得られたと思います。講義後、自分が興味のある問題と関連づけて、約800字のレポートにまとめました。その一部を紹介します。

「課題研究は、ロジカルスキルアップの授業で一度ジェンダー問題について考え、研究したことがありました。しかし、研究テーマがジェンダーというとても大きく漠然としたものだったので、あまりうまく課題研究ができませんでした。今回のLAC講座では、なぜロジカルな授業で行った課題研究がうまくいかなかったのか明確になり、どのようにすればより良い課題研究ができたのかがわかりました。具体的に自分たちが何について研究をしたかったのか確かではなく、情報源を見つけるのが難しかったのが一つの原因だとわかりました。（略）私が今回の一番興味があったことは、世界のPM2.5の濃度です。先進国ほど濃度が濃く思っていたので、発展途上国のアフリカ大陸が一番濃度が濃くことに驚きました。PM2.5を含む大気汚染で肺がんなどにかかり、死んでしまうことがあるということは、濃度が濃い国ほど医療の強化をしなければいけないので、比較的貧しい国が多いアフリカ大陸で被害が大きいのは問題だと思いました。私たちにもそのような国にボランティアに行ったり、寄付したりすることができるので、できることはやってみようと思いました。」（2年）

「私は、課題研究という言葉自体を聞いたことがありませんでしたが、研究とは何か、どういった手順で行うのかなどを知れてよかったです。単に、研究とするとんでもない、仮説を立て、計画書、論文などたくさんの過程があって初めて研究として成り立つと知るととても驚きました。さらに、それは人々にとってどうでもいいことではなくて、今ある問題を解決できるような役に立つ研究をするとなると、本当に大変なのだと感じました。前回の講義でも、先生がおっしゃっていた通り、世界のことを知るにはまず日本のことも知っておかなければいけないなど今回とても痛感しました。例えば、寿命のこと一つ調べるにしても、自国のことを知らないと比較することさえできません。今回驚いたのは、アフリカのPM2.5による大気汚染がすごいということですが、その原因を聞いて納得しました。（略）貧しい国に輸送費用がかさんだり、紛争のせいなどで悪循環が続いていると知りました。では、どうすればそれを抜け出せるか考えたときに、私たちができることを見つけて実践していきたいと思いました。また、バックキャストという新しい言葉も知りました。確かに問題ができてから解決するというのを繰り返していれば、持続可能な社会にはたどりつかないし、逆算をしなければならぬと学びました。二回の講義を受けて、難しいと感じていたSDGsの理解を深めることができました。この貴重な経験を活かして、将来世界の人々の役に立つためにも、2年生の先輩方のように、まずは興味のある分野を調べ、課題研究を行うことから始めてみようと思いました。何かのために行動を起こしていきたいです。」（1年）

小学校英語出前授業

12月14日午後、1年7組LAC生徒が宝塚第一小学校を訪問し、5年生5クラスの児童の皆さんに、英語出前授業を行いました。英語の「自己紹介」・「絵本の読み聞かせ」・「ゲーム活動」を柱として授業を組立てて準備をしてきました。事前に、京都ノートルダム女子大学の北村先生の講義を受け、小学生にわかりやすい授業になるように工夫しました。練習は大変でしたが、本番では、それぞれ自分の役割を一生懸命果たしていました。小学生が活発に反応してくれたことで、楽しい交流になりました。児童の皆さんへのアンケート結果と本校生の感想の一部を紹介します。

(Q1) 名刺を使った「自己紹介活動」について・・・「とてもよかった」「よかった」併せて96%

(Q2) 「クリスマスの絵本」の本読みについて・・・「とてもよかった」「よかった」併せて93%

(Q3) ゲーム活動「キーワードゲーム」「フルーツバスケット～クリスマスバージョン～」について・・・
「とてもよかった」「よかった」併せて95%

(Q4) 今日の授業で高校生と過ごして思ったこと、感じたことについて・・・

「英語をゲームなどで学んで面白かったし、(高校生が) 優しかったので良かったです。」

「英語は苦手だったのでどうしようと思っていたけど、簡単に楽しかったです。もう一回あればいいなと思いました。」

「英語の授業がこんなに早く！というくらいとても早く終わりました。またこんな授業があったらいいと思いました。」

「英語が楽しくなって、これからたくさんやりたいなと思った。」

「英語がとても面白かったのもっと英語を勉強して英語がうまくなりたいです。」

「わかりやすく教えてくれて、内容も楽しくてよかったです。」

「今日の授業を受けてとてもよかったです。自己紹介もできたし、クリスマスの絵本もいい話だったし、キーワードゲームとフルーツバスケットのクリスマスバージョンも楽しかったです。」

「高校生の人たちと楽しく過ごせてすごく楽しかったし、勉強になることも多々あってすごくよかったです。」

またこういう機会があれば、その時まで英語が話せるようになり、一緒に話してみたいと思いました。」

「私も高校生の皆さんのように英語が上手になりたいと思いました。」

「すごくみんな発音もきれいですごいなと思いました。高校生みたいに発音をもっとよくしたいです。」

「英語で話した後に日本語で話してくれて、英語はわからないところがあったけどわかって楽しかった。」

「自分たちで英語の名刺を作って交換したかった。もう少しふれ合って、もっと長く一緒にすごせたらなあと思った。」

「優しく接してくれて、覚えやすいように工夫してくれたからとてもよかった。」

「私も高校生になってこんな人になれたらいいなと思いました。今日はほんとうにありがとうございました。」

「初めて高校生と英語で交流できてよかったです。クリスマスの絵本はわかりやすく日本語に訳してくれてよかったです。」

「今までの外国語活動のことを楽しく復習できてよかったです。初めの名刺交換の時に丁寧に自分の好きなものを説明してくれてとても共感できました。Thank you!」

「高校生みたいに英語がうまくなって外国人と話したい。自分も高校生になったときに小学生に英語を教えてみたい。」

本校生徒の感想より

「今回初めて『教える』という立場から英語を学んで、最初はどう教えられるか、盛り上がってくれるかなど不安なことがたくさんありました。でも、教室に入った瞬間から、温かく迎えてもらって、緊張することなく楽しく授業ができました。いつも生徒という立場から学んでいるだけなので、教えることの難しさを感じました。でも教えることの楽しさもわかって、このような経験ができてよかったです。」

「私は将来英語を使って教育系の仕事をしたいので、すごく良い経験になりました。」

「今回先生の立場を経験して、まとめることの難しさや大きな声で言うことの大切さに気づくことができました。」

「僕も実際にこの小学校で西高の生徒による英語の授業を受けたのですが、その時すごく楽しいと思ったのを覚えています。彼らにも同じ感覚を味わってもらえたのならとてもうれしいと思います。」

